



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 シード

上場取引所 東

コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 杉山 哲也

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,680	7.7	404	13.2	364	25.8	55	
2019年3月期第1四半期	7,131	5.2	466	31.9	492	28.8	337	38.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 119百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 492百万円 (20.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.23	
2019年3月期第1四半期	13.49	

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益については前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	41,915	10,361	24.7	413.40
2019年3月期	39,946	10,776	26.9	429.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,348百万円 2019年3月期 10,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		12.00	12.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	12.2	2,100	12.0	2,050	11.4	1,000	3.7	39.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日付けで公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	27,336,000 株	2019年3月期	27,336,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,302,530 株	2019年3月期	2,302,530 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	25,033,470 株	2019年3月期1Q	25,033,515 株

注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、期中平均株式数(四半期累計)については前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・個人所得環境が緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の影響による中国経済の成長鈍化の影響や英国のEU離脱を巡る混乱等もあり、その回復基調がより緩慢なものになりつつあります。

コンタクトレンズ業界におきましては、少子高齢化が進んでいるものの、近視人口が増加しており、また、引き続き1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、乱視用、遠近両用等の高付加価値商品の伸長等により、市場は緩やかながらも成長基調にあるものと認識しております。しかしながら、当社製品と競合するシリコンハイドロゲル素材のラインナップ増加、販売チャネルの多様化、サークル・カラーレンズカテゴリーを中心とした新規参入企業の増加等もあり、当社を取り巻く競争環境は継続して厳しい状態で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の2年目となる2020年3月期につきましても、引き続き『～61年目からの新たな挑戦～日本のシードから世界のSEEDへ』を常軌化すべく、主力である純国産の「ワンデーピュアシリーズ」を中心に日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現し、販路拡大を通じた事業規模の拡大と将来的な成長基盤の強化を図っております。

当第1四半期連結累計期間において、上記計画の達成を目指した結果、売上高は、中国等の一部海外売上上の低迷はあったものの、2019年3月期に買収した欧州企業の連結寄与等により概ね当初の計画通り進捗し、7,680百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益につきましては、新製品のテスト製造開始や海外進出拡大に伴う多品種少量生産への対応により国内製造原価が上昇したこと等により粗利率が低下したこと、ならびに販売費及び一般管理費が前年同期比で239百万円増加したことにより、営業利益404百万円(前年同期比13.2%減)、経常利益364百万円(前年同期比25.8%減)となりました。また、特別損失として貸倒引当金繰入額482百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は55百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益337百万円)となりました。

(特別損失の詳細)

当社は、スイス連邦共和国ローザンヌにある、Sensimed AG. に対し、契約に基づき同社への転換権付劣後ローンを保有(一部は段階的に実行中)しております。同社は、既存・新規投資家からの増資による債務超過解消を目指しておりましたが、当第1四半期連結累計期間内に増資が完了していないため、当第1四半期連結会計期間末での当社の保有する転換権付劣後ローン及び関係利息金の回収可能性を踏まえて貸倒引当金を計上することといたしました。なお、同社から供給を受けております「トリガーフィッシュ」及び「トリガーフィッシュセンサー」は十分な在庫等を保有しており、当社の供給体制には影響はありません。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性の観点からオルソケラトロジーレンズ及びトリガーフィッシュに関連する事業のセグメントを「その他」から「コンタクトレンズ・ケア用品」に変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズ「ピュアシリーズ」を中心に、国内外において、品質力の高さやきめ細やかな対応力を強みに、積極的な営業・広告活動を展開してまいりました。

この結果、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいて、「ワンデーピュアシリーズ」は乱視用を中心に引き続き伸長しました。サークル・カラーレンズカテゴリーについては、主力の「アイコフレワンデーUVシリーズ」は商品リニューアルや乱視用の発売により国内を中心に好調に推移したものの、その他サークル・カラーレンズの販売が計画に対して未達となりました。一方、就寝前に装着することで睡眠時に角膜を矯正するオルソケラトロジーレンズ事業は好調に推移しました。

ケア用品につきましては、コンタクトレンズ市場の1日使い捨てタイプへのシフトによるケア用品市場縮小と同じ傾向により、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は7,384百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益につきましては、粗利率の低下ならびに販売費及び一般管理費の増加等により671百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

(眼鏡)

当第1四半期連結累計期間において、卸販売の営業拠点を概ね東京に集約し、小売子会社の不採算店を閉店するなど、事業の再構築に取り組みながら、主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に営業活動を行ってまいりました。その結果、売上高は228百万円(前年同期比20.0%減)となりましたが、経費削減効果により営業損失4百万円(前年同期営業損失12百万円)と若干改善傾向が見られました。

(その他)

その他につきましては、売上高は68百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益9百万円(前年同期営業損失6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、41,915百万円となり、前連結会計年度末から1,969百万円増加いたしました。主な要因として、鴻巣研究所3号棟の生産エリア拡大と設備導入に伴い、有形固定資産が増加したことや、新商品発売のための在庫が増加したことが挙げられます。

負債につきましては、31,554百万円となり、前連結会計年度末から2,384百万円増加しております。主な要因は子会社等への出資や株式取得、新商品発売のための在庫投資と鴻巣研究所の設備導入、手元流動性積上げ等の結果、短期借入金が1,304百万円増加したことが挙げられます。

純資産につきましては、10,361百万円となり、前連結会計年度末から414百万円の減少となりました。主な要因としては、利益剰余金が減少したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,310百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、111百万円(前年同期556百万円の収入)となりました。たな卸資産の増加1,328百万円により資金減少があったものの、前渡金の減少642百万円や未払金の増加559百万円や減価償却費の計上590百万円により、資金が増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、464百万円(前年同期325百万円の支出)となりました。これは主に、鴻巣研究所の設備導入等に伴う有形固定資産の取得432百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,006百万円(前年同期427百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は短期借入金の純増加額1,262百万円や長期借入れによる収入910百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は長期借入金の返済609百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間に特別損失を計上したこと等により、連結の親会社株主に帰属する当期純利益及び個別の当期純利益の予想を修正しております。詳細は、本日(2019年8月9日)公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,668	3,310,029
受取手形及び売掛金	4,806,690	4,599,975
商品及び製品	5,719,309	6,980,386
仕掛品	390,912	468,978
原材料及び貯蔵品	747,754	736,023
前渡金	1,185,709	543,330
未収入金	789,900	920,495
預け金	10,078	13,499
その他	1,011,085	1,093,685
貸倒引当金	△161,968	△644,882
流動資産合計	17,131,142	18,021,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,953,294	9,804,789
機械装置及び運搬具(純額)	1,204,324	1,250,215
土地	4,079,821	4,463,559
リース資産(純額)	3,142,415	3,575,002
建設仮勘定	1,049,773	283,197
その他(純額)	671,715	716,505
有形固定資産合計	19,101,346	20,093,268
無形固定資産		
のれん	893,664	871,131
その他	540,479	527,366
無形固定資産合計	1,434,143	1,398,497
投資その他の資産	2,279,490	2,402,383
固定資産合計	22,814,980	23,894,150
資産合計	39,946,122	41,915,672

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825,182	890,410
短期借入金	12,985,924	14,290,829
リース債務	953,457	1,073,952
未払金	1,848,593	2,339,841
未払法人税等	373,057	45,705
賞与引当金	478,398	238,856
設備関係支払手形	331,094	867,730
製品保証引当金	44,910	50,000
店舗閉鎖損失引当金	27,583	4,849
その他	423,447	338,444
流動負債合計	18,291,648	20,140,619
固定負債		
長期借入金	5,217,579	5,471,076
リース債務	2,656,863	2,980,279
退職給付に係る負債	2,777,423	2,737,334
役員退職慰労引当金	80,475	79,769
資産除去債務	91,743	91,816
その他	54,013	53,306
固定負債合計	10,878,097	11,413,581
負債合計	29,169,746	31,554,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	5,579,204	5,223,054
自己株式	△436,601	△436,601
株主資本合計	10,530,442	10,174,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,398	238,656
繰延ヘッジ損益	13,959	△71,713
為替換算調整勘定	△42,322	△7,005
退職給付に係る調整累計額	△17,198	14,592
その他の包括利益累計額合計	225,837	174,529
非支配株主持分	20,095	12,649
純資産合計	10,776,375	10,361,471
負債純資産合計	39,946,122	41,915,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,131,515	7,680,631
売上原価	3,922,297	4,293,227
売上総利益	3,209,218	3,387,403
販売費及び一般管理費	2,743,118	2,982,738
営業利益	466,099	404,665
営業外収益		
受取利息	9,689	16,449
受取配当金	3,018	6,241
受取賃貸料	22,297	19,076
為替差益	33,300	—
売電収入	14,276	15,439
その他	3,823	9,078
営業外収益合計	86,406	66,285
営業外費用		
支払利息	36,625	39,079
持分法による投資損失	—	16,253
賃貸費用	14,417	11,611
為替差損	—	21,343
その他	9,270	17,668
営業外費用合計	60,312	105,957
経常利益	492,193	364,993
特別利益		
事業譲渡益	4,236	—
特別利益合計	4,236	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,480
貸倒引当金繰入額	—	482,556
特別損失合計	—	484,036
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	496,430	△119,043
法人税、住民税及び事業税	72,904	18,932
法人税等調整額	85,804	△69,851
法人税等合計	158,708	△50,919
四半期純利益又は四半期純損失(△)	337,721	△68,124
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△12,376
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	337,721	△55,748

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	337,721	△68,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,134	△32,742
繰延ヘッジ損益	121,206	△85,673
為替換算調整勘定	1,009	35,317
退職給付に係る調整額	9,041	31,790
その他の包括利益合計	154,391	△51,308
四半期包括利益	492,113	△119,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492,113	△111,803
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△7,628

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	496,430	△119,043
減価償却費	509,258	590,411
のれん償却額	29,056	34,647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	360	485,703
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39,934	△14,269
賞与引当金の増減額(△は減少)	△205,317	△239,541
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,660	5,090
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△22,734
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24,809	△706
受取利息及び受取配当金	△12,707	△22,691
支払利息	36,625	39,079
持分法による投資損益(△は益)	—	16,253
固定資産除却損	—	1,480
事業譲渡損益(△は益)	△4,236	—
売上債権の増減額(△は増加)	179,823	213,893
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208,483	△1,328,856
前渡金の増減額(△は増加)	△553	642,379
未収入金の増減額(△は増加)	△14,730	△113,500
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,452	65,227
未払金の増減額(△は減少)	273,697	559,118
未払消費税等の増減額(△は減少)	104,547	△208,610
その他	△78,287	△124,188
小計	1,117,493	459,143
利息及び配当金の受取額	12,707	7,377
利息の支払額	△35,625	△39,879
法人税等の支払額	△537,790	△315,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,785	111,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△428,035	△432,304
投資有価証券の取得による支出	△95,435	△208
貸付金の回収による収入	2,167	1,917
敷金及び保証金の差入による支出	△2,364	△4,703
敷金及び保証金の回収による収入	1,179	2,265
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	234,192	—
その他	△36,973	△31,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325,269	△464,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	685,000	1,262,860
長期借入れによる収入	695,000	910,000
長期借入金の返済による支出	△528,740	△609,615
配当金の支払額	△223,793	△292,548
自己株式の取得による支出	△444	—
リース債務の返済による支出	△199,371	△233,396
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△31,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,649	1,006,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	26,007
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	659,157	678,360
現金及び現金同等物の期首残高	1,780,919	2,631,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,440,077	3,310,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,782,023	284,906	7,066,930	64,585	7,131,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,782,023	284,906	7,066,930	64,585	7,131,515
セグメント利益又は損失(△)	728,445	△12,794	715,650	△6,427	709,223

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズ等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	715,650
「その他」の区分の損失(△)	△6,427
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△243,124
四半期連結損益計算書の営業利益	466,099

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結累計期間において、Contact Lens Precision Laboratories Ltdの株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「コンタクトレンズ・ケア用品」セグメントにおいて、のれん610,754千円が発生しております。なお、のれんの金額は前第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,384,554	228,052	7,612,606	68,024	7,680,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,384,554	228,052	7,612,606	68,024	7,680,631
セグメント利益又は損失(△)	671,533	△4,413	667,120	9,697	676,817

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズ等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	667,120
「その他」の区分の利益	9,697
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△272,152
四半期連結損益計算書の営業利益	404,665

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度において「その他」に含まれていたオルソケラトロジーレンズ及びトリガーフィッシュに関連する事業は、当第1四半期連結会計期間より重要性の観点から報告セグメントの「コンタクトレンズ・ケア用品」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。